2027年3月期第2四半期（中間期）

決算説明資料

2026年11月13日

東証スタンダード **5304**

SECカーボン株式会社

目次

エグゼクティブサマリー p2

01. 2027/3期 上期 連結決算概要 p6

02. 2027/3期 通期 連結決算見通し p14

03. APPENDIX p23

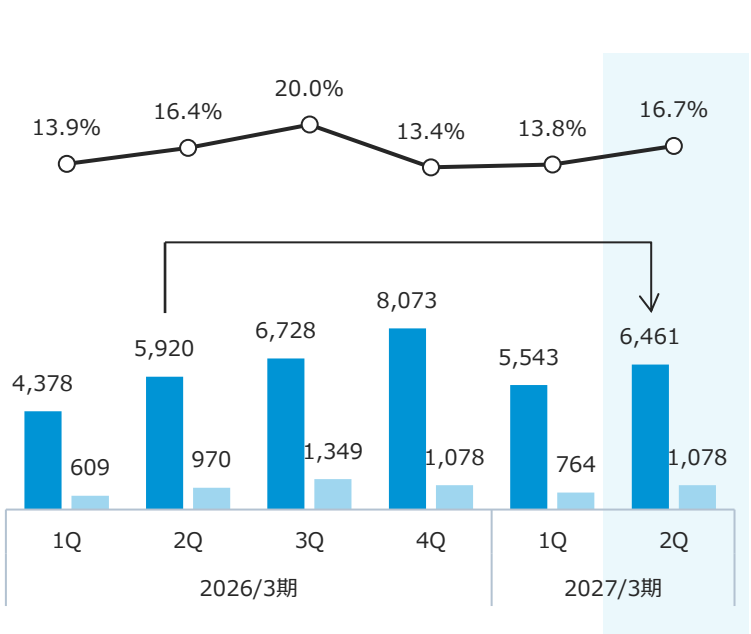
©SEC CARBON, LIMITED

エグゼクティブサマリー　①決算概要

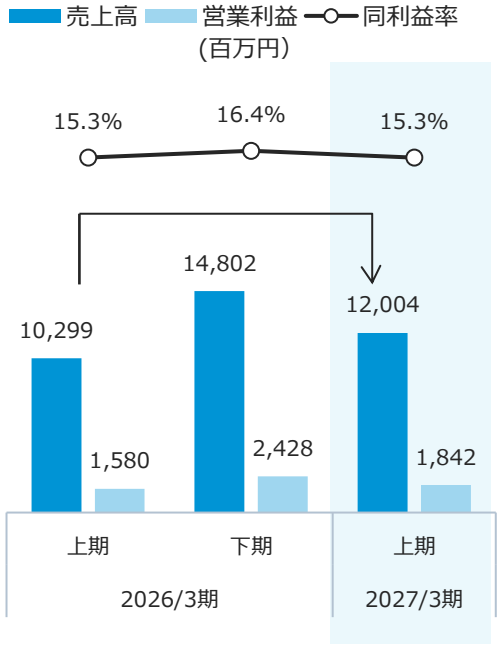
- **2027/3期2Q：増収増益（前年同期比）。営業利益率は前期4Q以降、四半期ベースで改善**
- **2027/3期上期：アルミ製錬用カソードブロックの販売量増加により増収増益（対前年同期比）**
- **2027/3期修正後見通し：期初より売上高、営業利益ともに上方修正。営業利益は前期並みを見込む**

※通期見通しは、2026年11月13日に修正

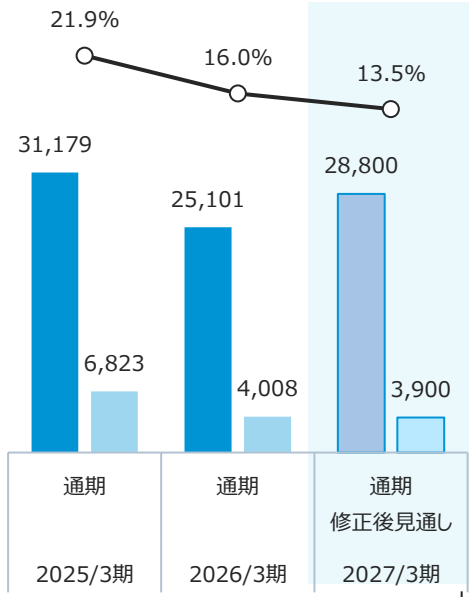
四半期推移



半期推移



通期推移



©SEC CARBON, LIMITED

エグゼクティブサマリー　②経営課題の状況

■ **事業環境**
カソードブロックの顧客在庫調整は解消方向にある一方、原燃料・エネルギーコストの上昇が収益面の重荷

項目	2030 Make Real スタート前	2027/3期2Q時点	コメント
資本効率 ROE	**▲0.1%** 2026/3期実績	**約4.5%** 通期予想・概算	収益力向上と資本配分の見直しにより **ROE12%の達成**を目指す
市場評価 PBR	**0.74倍** 2026年4月9日終値	**0.61倍** 2026年9月30日終値	PBRは1倍未満 企業価値向上に向けた取り組み継続
財務基盤 自己資本比率	**89.2%** 2026年3月末	**89.4%** 2026年9月末	成長投資・株主還元を支える財務基盤 資本の有効活用を通じてROE改善を図る

©SEC CARBON, LIMITED

中長期経営方針の進捗

中長期経営方針2030「Make Real」

基本方針	重点項目	目標・方針	2027/3期 上期の主な取組状況
成長戦略の強化	M&A・戦略投資	成長分野への投資 事業ポートフォリオの見直し	投資判断のガイドラインを整備し、投資候補先の探索・評価を実施
	研究開発	CO_2資源化・半導体材料関連の技術開発	CO_2資源化：産学5者連携構築、ベンチスケール検証開始（5月） 半導体材料関連：産官学連携で研究開発を加速
	既存事業・営業力	カソードブロックの世界シェア維持 太物電極の量産基盤構築 特炭・FPの用途・販路拡大	カソード：高付加価値製品開発、付帯製品・サービスの充実 太物電極：電極新加工機稼働 特炭・FP：ホームページ改善等による新規開拓、潜在顧客アプローチによる拡販
資本政策の推進	政策保有株式	純資産比率20%未満	2026年9月末：5銘柄売却で保有銘柄は26銘柄に**（純資産比率：33.9%）**
	自己株式取得	向こう3年間で70億円を目安	約10億円・392,600株を取得済：3年間の取得目安70億円に対して**14%の進捗**
	配当	年間100円または配当性向30%のいずれか高い額	2027/3期は**中間配当を50円とすることを決議。期末配当も50円を計画**
	流通株式比率	35%以上	**比率は30.9%**（自己株取得で前期末比▲1.9pt）
経営体質の強化	ガバナンス	社外取締役比率を早期に1/3超 将来的に50%	2026年6月に社外取締役比率は37.5%（3名／8名）となり**1/3超を達成**
	モノづくり力	品質・設備管理の高度化 コスト削減・原料調達の最適化	品質評価体制の再構築。中長期設備投資計画を更新
	人材・IT基盤	採用・配置・育成の最適化 IT基盤再構築・デジタル活用	人材：人材育成・技術伝承の課題解決に向けた検討 IT基盤：セキュリティ体制強化施策実行

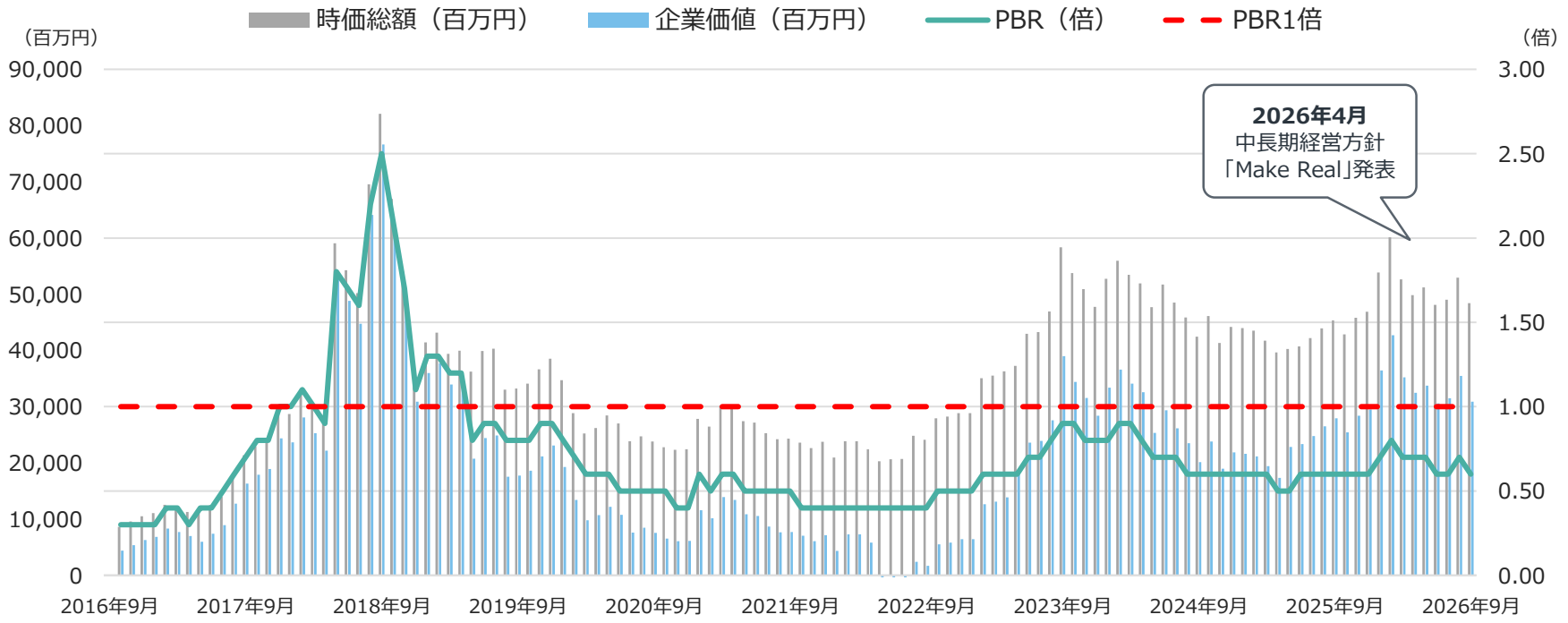
©SEC CARBON, LIMITED

市場評価

2027/3期 上期｜市場指標：2026/9/30

株価　2,439円	PBR　0.61倍	時価総額　約479億円

※PBR・時価総額は、2026年9月末の自己株式を除く株式数を用いて算出。PBRは同月末の連結自己資本に基づく。



©SEC CARBON, LIMITED

2027/3期　上期　連結決算概要

01.

©SEC CARBON, LIMITED

2027/3期 上期決算概要

- **期初予想比：**売上高14.0億円、営業利益7.4億円の上振れ。アルミ製錬用カソードブロックにおいて、中東情勢の影響で前下期から遅延していた船積みが当上期に行われたことや想定より円安で推移したことが主たる要因
- **前年同期比（YoY）：**売上高・営業利益ともに増加。カソードブロックの数量増と円安が寄与し、営業利益率は15.3%と前年並み
  親会社株主に帰属する中間純利益は特別利益である有価証券売却益5.4億円の計上もあり、増益
- **前半期比較（HoH）：**前下期比では減収減益。当期も下期偏重を想定しており、想定どおり

百万円	2026/3期		2027/3期上期				
	上期	下期	期初予想	実績	差異		
					予想比	YoY	HoH
売上高	10,299	14,802	10,600	**12,004**	+1,404	+1,705	▲2,797
アルミニウム製錬用カソードブロック	6,648	10,301	6,400	**7,957**	+1,557	+1,308	▲2,343
人造黒鉛電極	2,017	2,466	2,500	**2,146**	▲353	+129	▲318
特殊炭素製品	1,269	1,627	1,300	**1,487**	+187	+218	▲139
ファインパウダー及びその他炭素製品	364	409	400	**412**	+12	+48	+3
営業利益	1,580	2,428	1,100	**1,842**	+742	+262	▲585
営業利益率	15.3%	16.4%	10.4%	**15.3%**	+5.0pt	+0.0pt	▲1.1pt
EBITDA*	2,187	3,869	2,200	**2,737**	+537	+550	▲1,131
EBITDAマージン	21.2%	26.1%	20.8%	**22.8%**	+2.1pt	+1.6pt	▲3.3pt
経常利益	2,284	3,399	1,600	**2,242**	+642	▲42	▲1,156
親会社株主に帰属する純利益	1,634	▲1,708	1,300	**1,928**	+628	+294	+3,637
輸出比率	70.4%	75.1%	66.2%	**70.5%**	+4.3pt	+0.1pt	▲4.6pt
期中為替レート（円/USD）	146.05	155.52	155.00	**159.73**	+4.73	+13.68	+4.21

*EBITDA＝営業利益+減価償却費

©SEC CARBON, LIMITED

四半期別業績推移

- 2Q単独では1Q比（QoQ）で売上高16.6%増、営業利益41.0%増。カソードブロックの販売増加に伴い、営業利益率は13.8%から16.7%へ改善
- 特に、電極売上高は1Q比61.9%増と持ち直し、増収に寄与。
- 営業増益に対し経常利益は1Q比9.6%減。2Qに発生した為替差損1.7億円がその背景。有価証券売却益の1Q集中も純利益に影響

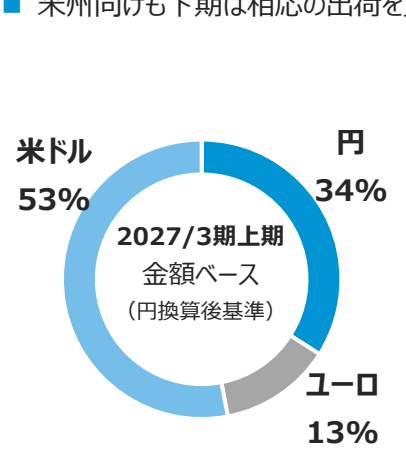
百万円	2026/3期				2027/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	QoQ 増減額	QoQ 増減率
売上高	4,378	5,920	6,728	8,073	5,543	**6,461**	+918	+16.6%
アルミニウム製錬用カソードブロック	2,485	4,162	4,819	5,481	3,774	**4,183**	+408	+10.8%
人造黒鉛電極	1,010	1,006	1,135	1,330	819	**1,326**	+507	+61.9%
特殊炭素製品	691	577	586	1,040	727	**760**	+32	+4.5%
ファインパウダー及びその他炭素製品	190	173	187	220	221	**191**	▲30	▲13.7%
営業利益	609	970	1,349	1,078	764	**1,078**	+313	+41.0%
営業利益率	13.9%	16.4%	20.0%	13.4%	13.8%	**16.7%**	+2.9pt	–
EBITDA*	891	1,296	2,051	1,817	1,195	**1,542**	+347	+29.0%
EBITDAマージン	20.4%	21.9%	30.5%	22.5%	21.6%	**23.9%**	+2.3pt	–
経常利益	948	1,335	1,907	1,490	1,177	**1,064**	▲112	▲9.6%
親会社株主に帰属する純利益	672	961	1,351	▲3,059	1,224	**703**	▲520	▲42.5%
輸出比率	61.0%	77.3%	76.6%	73.8%	71.5%	**69.6%**	▲1.9pt	–
期中為替レート（円/USD）	144.07	147.23	154.47	156.44	159.47	**159.95**	+0.48	+0.3%

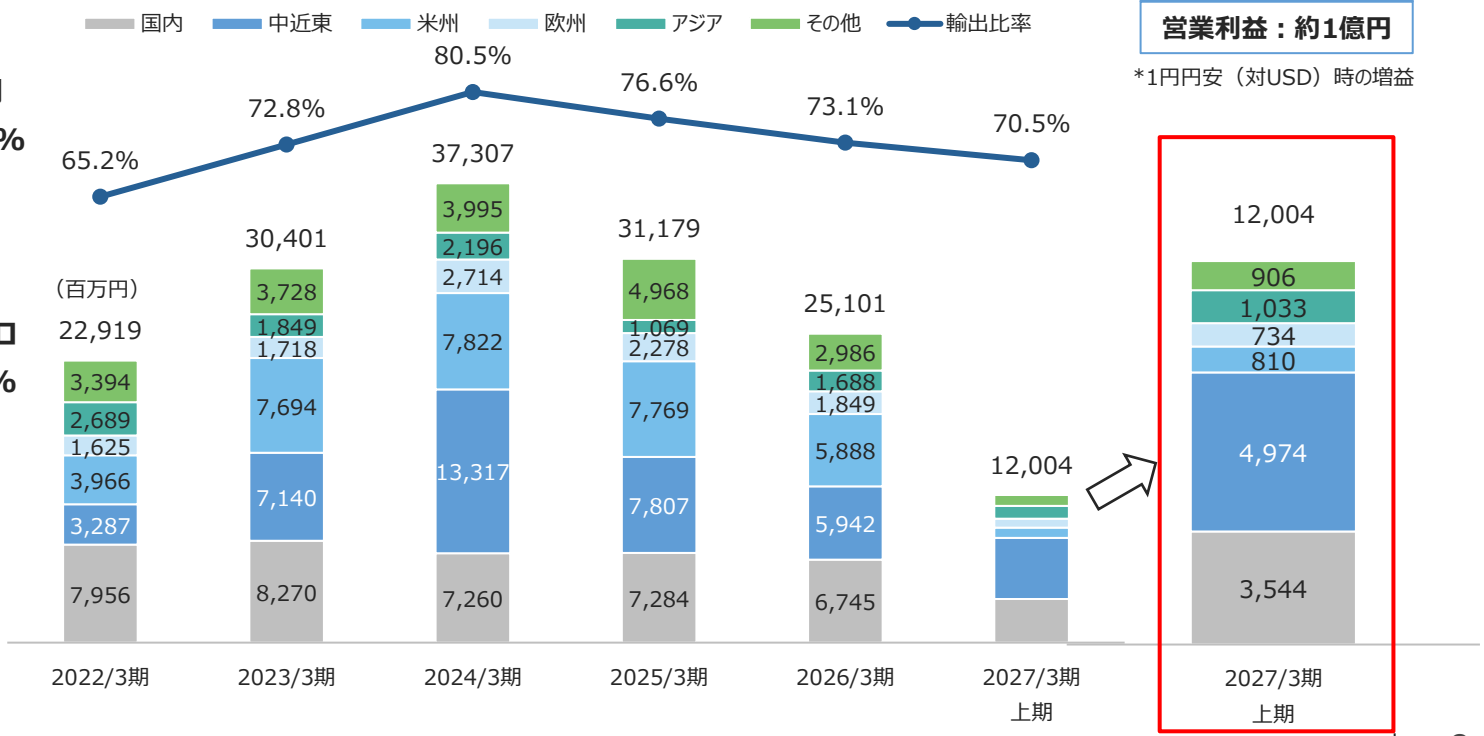
*EBITDA＝営業利益+減価償却費

©SEC CARBON, LIMITED

地域別売上高

- 2024/3期をピークに売上は減少基調。特に中近東・米州向けの売上は、アルミ製錬用カソードブロックの在庫調整の影響により減少傾向
- 2027/3期上期は、中東情勢の影響による前期からの船積みずれ込みに加え、販売も堅調に推移し、中近東向けの売上構成比が上昇
- 下期以降は、中東情勢に伴うカソードブロック需要の増加を想定。中近東向け売上は引き続き堅調に推移する見通し
- 米州向けも下期は相応の出荷を見込み、米州を重点地域とする認識に変わりはない





年間為替感応度*

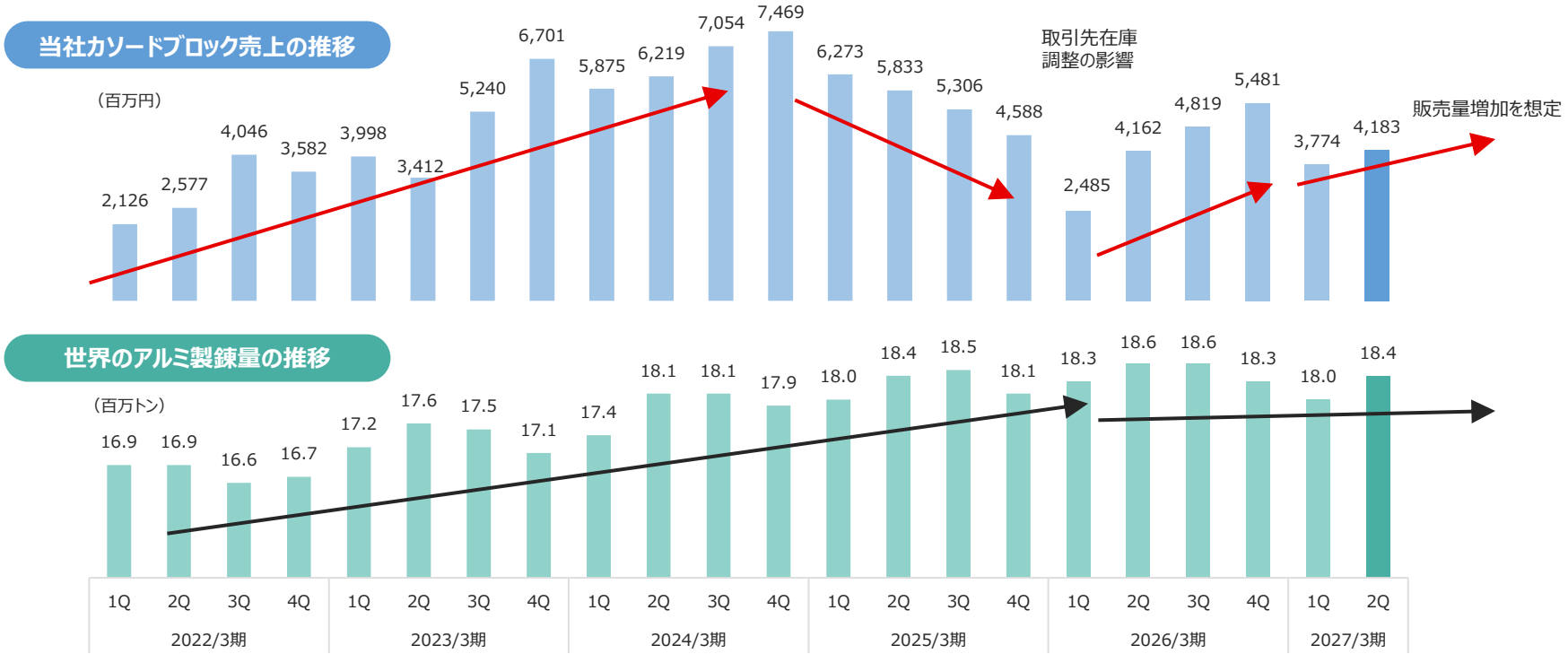
営業利益：約1億円

*1円円安（対USD）時の増益

©SEC CARBON, LIMITED

アルミ製錬用カソードブロックの売上トレンド

- 直近のカソードブロック売上高は、実需を示す世界のアルミ製錬量との相関性が低下。2025/3期に発生した製錬企業における在庫調整を代表例に、現在は実需以上に在庫動向が売上に与える影響が増している。ただし、アルミ製錬量は高水準にあることから、カソードブロックの実需そのものは堅調と認識
- 2027/3期の販売は前期同様、下期偏重となる見通し。上期は想定通り、前下期比で減収。顧客の在庫調整は徐々に解消へ向かうと想定

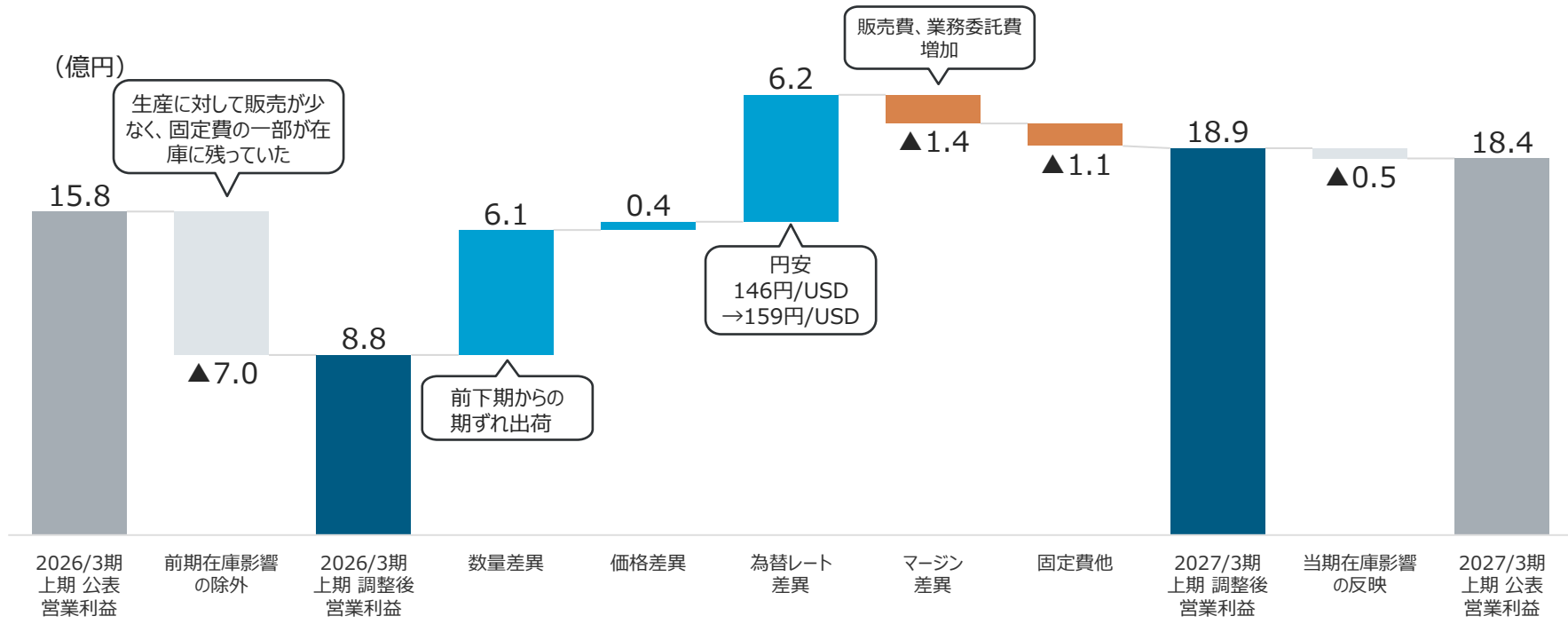


（出典）International Aluminium Institute https://international-aluminium.org/ より抜粋し、当社作成

©SEC CARBON, LIMITED

2027/3期 上期営業利益　増減益分析

- 在庫影響等を除く調整後営業利益は、前年上期8.8億円から当期18.9億円へ増加
- 前年比の調整後営業増益の主因は、カソードブロックの期ずれ出荷に伴う販売数量増加と、円安
- マージン差異は、物流費等の販売費増加により減益要因。固定費他は、減価償却費の増加により減益要因



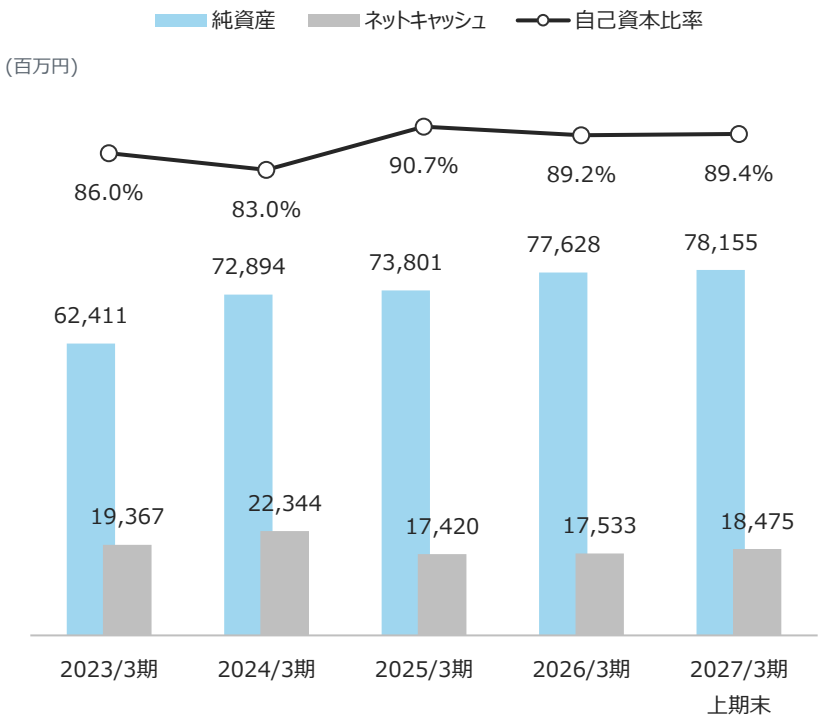
※在庫影響による増益は、固定費の一部が在庫に残り、費用計上が将来に持ち越された状態。減益は、過去の在庫に含まれる固定費が費用化された状態。
前期は、影響を取り除くため、グラフ上の符号は逆になる。

©SEC CARBON, LIMITED

B/Sの状況

- 総資産は前期末から概ね横ばい。売上債権の回収が進み、前期末比24.2億円の減少となったものの、設備投資による固定資産増、業績堅調による現預金積み増しでほぼ相殺。
- 上期末の自己資本比率は89.4%。自己株取得や政策保有株式売却を進めるも、時価上昇により投資有価証券は増加。自己資本比率は前期末と同水準を継続

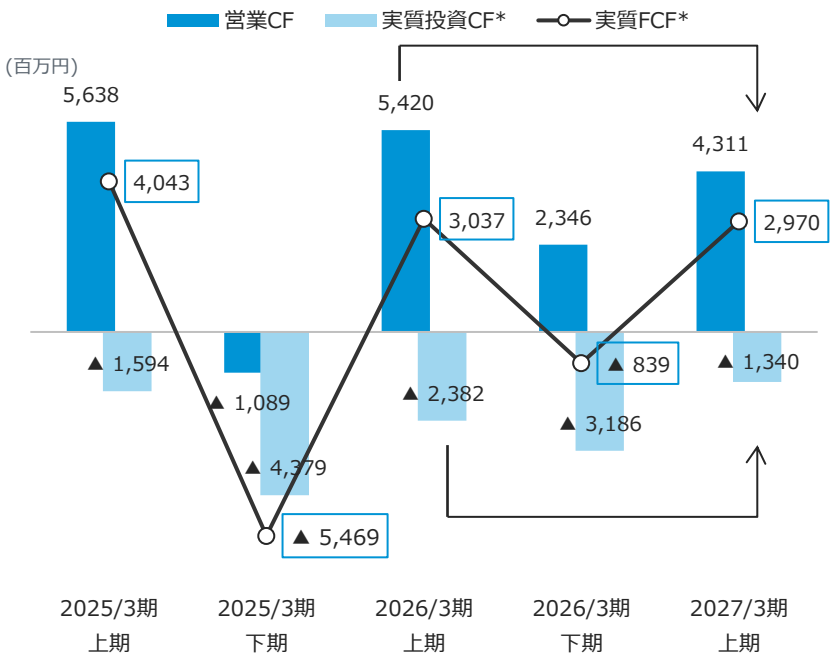
百万円	2026/3期末 実績	2027/3期上期末 実績	2027/3期上期末 前期末比
流動資産	45,663	**44,375**	▲1,287
現預金	17,533	**18,475**	+941
売上債権	9,378	**6,961**	▲2,417
棚卸資産	18,253	**18,523**	+269
固定資産	41,353	**43,018**	+1,665
有形固定資産	13,316	**14,308**	+992
投資有価証券	27,813	**28,558**	+745
総資産	**87,016**	**87,394**	**+378**
負債	9,388	**9,239**	▲149
仕入債務	1,934	**2,040**	+106
未払法人税等	863	**779**	▲83
純資産	77,628	**78,155**	+527
株主資本	62,446	**62,372**	▲73
その他有価証券評価差額金	14,924	**15,550**	+625
負債･純資産合計	**87,016**	**87,394**	**+378**



CFの状況

- 営業CFは43.1億円と前年同期比11.1億円減。売上債権回収等で資金を確保した一方、法人税支払額が増加
- 投資CFは前年の日本電極への出資支出がなくなったことに加え、有価証券売却収入が発生。設備取得支出は増加したが、実質10億円の支出減に
- 定期預金収支を除く実質FCFは前年並み。実質FCF29億円の内、配当支払・自己株式取得に計20.0億円を充当

百万円	2026/3期 上期	2026/3期 下期	2027/3期上期 実績	2027/3期上期 前年同期比
営業CF	5,420	2,346	**4,311**	▲ 1,108
税前利益(△は損失)	2,256	▲ 2,679	**2,738**	+481
減価償却費	607	1,441	**895**	+287
運転資本増減	2,365	▲ 2,529	**2,254**	▲ 111
法人税支払	▲ 360	▲ 712	**▲ 840**	▲ 479
投資CF	▲ 5,912	▲ 1,226	**657**	+6,570
定期預金収支	▲ 3,530	1,960	**1,998**	+5,528
実質投資CF*	▲ 2,382	▲ 3,186	**▲ 1,340**	+1,042
有形固定資産取得	▲ 324	▲ 3,243	**▲ 1,960**	▲ 1,635
投資有価証券取得	▲ 1,942	▲ 17	**▲ 23**	+1,919
投資有価証券売却	0	177	**624**	+624
実質FCF*	3,037	▲ 839	**2,970**	▲ 66
財務CF	▲ 1,004	▲ 1,007	**▲ 2,007**	▲ 1,003
配当金支払	▲ 1,001	▲ 1,002	**▲ 1,001**	+0
自己株式取得	0	0	**▲ 1,000**	▲ 999
現金同等物期中増減	▲ 1,489	32	**2,939**	+4,429
現預金期中増減	2,040	▲ 1,927	**941**	▲ 1,098



＊ 実質投資CF＝投資CF－定期預金収支。実質FCF＝営業CF＋実質投資CF。

©SEC CARBON, LIMITED

2027/3期　連結決算見通し

02.

©SEC CARBON, LIMITED

2027/3期 下期･通期決算見通し修正

通期営業利益見通し

従来予想	修正予想	通期修正額
34億円 前年比 ▲15.2%	39億円 前年比 ▲2.7%	＋5.0億円

営業利益予想の修正要因

（単位：億円）

上期実績の上振れ	＋7.4	前下期から遅れていた船積みの集中、円安
下期見通しの引下げ	▲2.4	増販を見込む一方、原料コークスや電力などのコスト上昇が下押し

下期見通し引下げの内訳（概算）

カソードブロック等の販売数量増加 ＋2.0	コスト上昇 ▲4.4

2027/3期 下期・通期決算見通し

- 修正後の通期営業利益は39億円。期初より5億円を増額し、前年比ではほぼ横ばい水準となる見通し
- 下期では、カソードブロック販売数量増加を見込み、上期比増収。中東のカソードブロック緊急需要増は修正予想に織り込み済み。また、在庫調整進展を見込み、下期売上高は、期初予想比で増額修正。ただし、下期営業利益は、原料やエネルギーコスト上昇のため、上期比では増益ながら、期初予想比で減額
- 中東情勢によるサプライチェーンの混乱は一段落との認識だが、原料・エネルギー・物流コストは増加。価格転嫁を進めるが、浸透には一定期間を要する

百万円	上期実績	下期見通し			通期見通し		
		期初予想	修正予想	差異	期初予想	修正予想	差異
売上高	12,004	15,900	**16,795**	+895	26,500	**28,800**	+2,300
アルミニウム製錬用カソードブロック	7,957	10,900	**11,668**	+768	17,300	**19,626**	+2,326
人造黒鉛電極	2,146	2,900	**3,126**	+226	5,400	**5,273**	▲127
特殊炭素製品	1,487	1,700	**1,616**	▲83	3,000	**3,104**	+104
ファインパウダー及びその他炭素製品	412	400	**384**	▲15	800	**797**	▲3
営業利益	1,842	2,300	**2,057**	▲242	3,400	**3,900**	+500
営業利益率	15.3%	14.5%	**12.2%**	▲2.2pt	12.8%	**13.5%**	+0.7pt
EBITDA*	2,737	3,350	**3,172**	▲177	5,550	**5,909**	+359
EBITDAマージン	22.8%	21.1%	**18.9%**	▲2.2pt	20.9%	**20.5%**	▲0.4pt
経常利益	2,242	2,800	**2,757**	▲42	4,400	**5,000**	+600
親会社株主に帰属する純利益	1,928	1,700	**1,571**	▲128	3,000	**3,500**	+500
輸出比率	70.5%	75.0%	**75.2%**	+0.2pt	71.5%	**73.2%**	+1.7pt
期中為替レート（円/USD）	159.73	155.00	**155.00**	0.00	155.00	**156.84**	+1.84

*EBITDA＝営業利益+減価償却費

©SEC CARBON, LIMITED

2027/3期 決算見通し（上下期・前期比較）

- 売上高の通期見通しは、前期比14.7%増収、営業利益は2.7%減益の見通し。売上増加に対し、利益率は16.0%から13.5%へ低下
- 上期は前年同期比増収、営業増益。営業利益率は15.3%と前年同期並み
- 下期は上期比47.9億円の増収、営業利益は2.1億円増を見込む。増収の中心はカソードの37.1億円増
- 下期営業利益率は12.2%を想定。上期比の円高前提（159.73円から155.00円/USD）に加え、費用増も織り込む

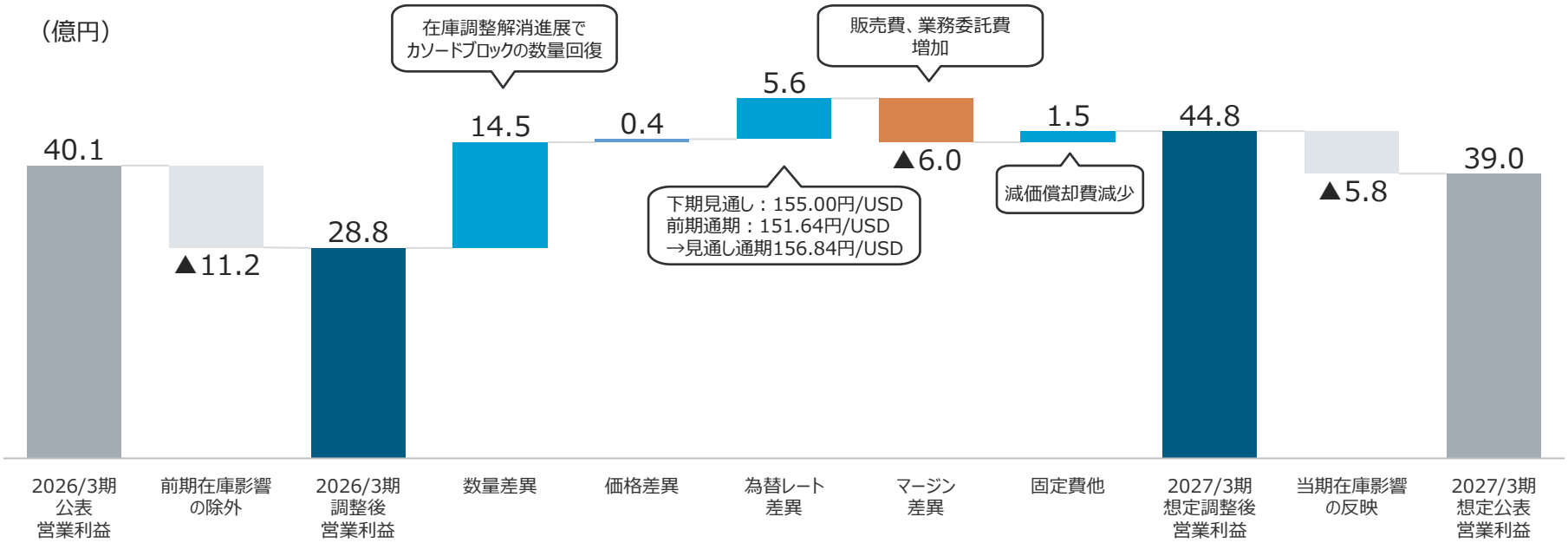
百万円	2026/3期 実績			2027/3期 見通し				
	上期	下期	通期	上期実績	下期見通し	上下差異	通期見通し	通期前期比
売上高	10,299	14,802	25,101	12,004	**16,795**	+4,791	**28,800**	+14.7%
アルミニウム製錬用カソードブロック	6,648	10,301	16,949	7,957	**11,668**	+3,711	**19,626**	+15.8%
人造黒鉛電極	2,017	2,466	4,482	2,146	**3,126**	+979	**5,273**	+17.6%
特殊炭素製品	1,269	1,627	2,896	1,487	**1,616**	+128	**3,104**	+7.2%
ファインパウダー及びその他炭素製品	364	409	772	412	**384**	▲28	**797**	+3.1%
営業利益	1,580	2,428	4,008	1,842	**2,057**	+214	**3,900**	▲2.7%
営業利益率	15.3%	16.4%	16.0%	15.3%	**12.2%**	▲3.1pt	**13.5%**	▲2.4pt
EBITDA*	2,187	3,869	6,056	2,737	**3,172**	+434	**5,909**	▲2.4%
EBITDAマージン	21.2%	26.1%	24.1%	22.8%	**18.9%**	▲3.9pt	**20.5%**	▲3.6pt
経常利益	2,284	3,399	5,683	2,242	**2,757**	+515	**5,000**	▲12.0%
親会社株主に帰属する純利益	1,634	▲1,708	▲74	1,928	**1,571**	▲357	**3,500**	黒字転換
輸出比率	70.4%	75.1%	73.1%	70.5%	**75.2%**	+4.7pt	**73.2%**	+0.1pt
期中為替レート（円/USD）	146.05	155.52	151.64	159.73	**155.00**	▲4.73	**156.84**	+5.20

*EBITDA＝営業利益+減価償却費

©SEC CARBON, LIMITED

2027/3期営業利益見通し　想定増減益分析

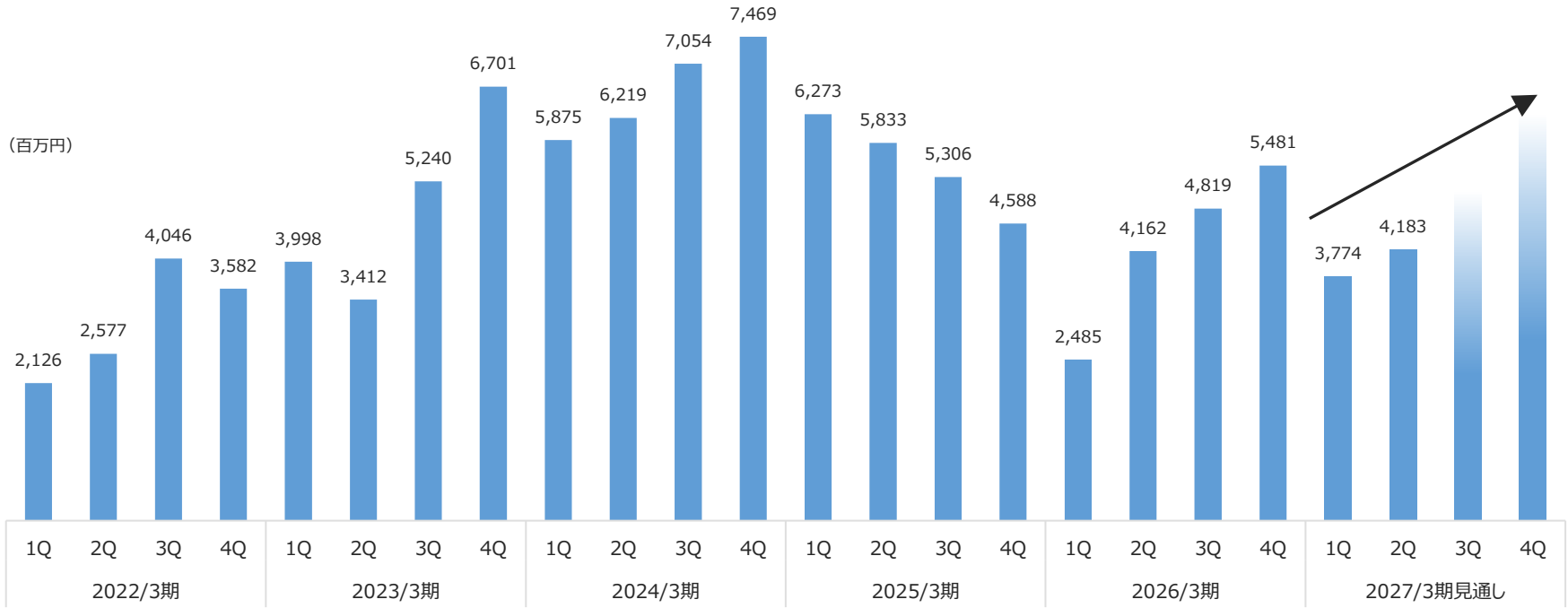
- カソードブロックの販売数量増加と円安が増益に寄与。在庫影響等を除く調整後営業利益は、前期約28.8億円から44.8億円へ増加する見通し
- 販売直接費・業務委託費等の負担増により、マージン差異は6.0億円の減益要因。一方、製造固定費の減少等により、固定費他は1.5億円の増益要因
- 在庫影響等を反映した公表営業利益は39.0億円と、前期40.1億円をやや下回る見通し



©SEC CARBON, LIMITED

アルミ製錬用カソードブロック売上見通し

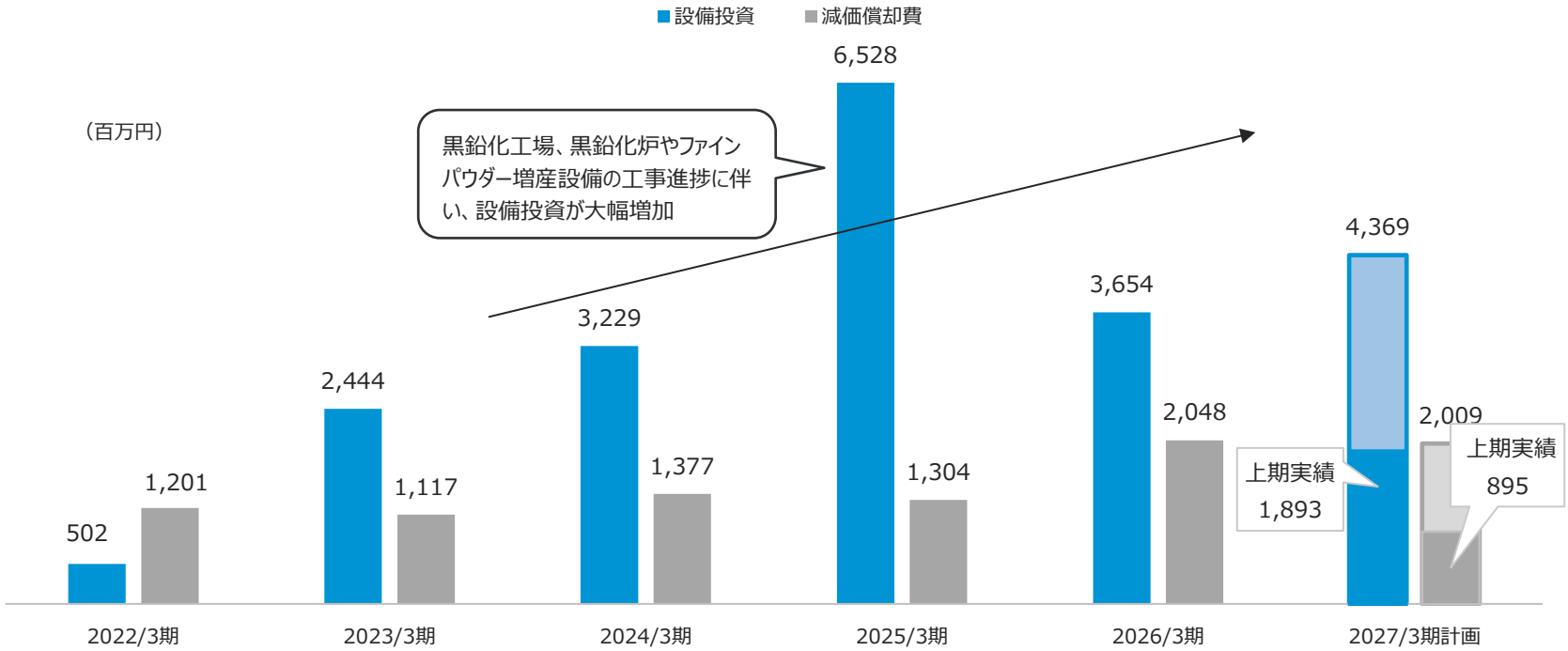
- カソードブロックの売上は、中東船積みの回復があったものの、上期は出荷タイミングの影響により低水準で推移。一方、下期に向けては在庫調整解消により、回復を見込む
- カソードブロックの価格は多くが年間契約。2026年価格は在庫調整局面での価格交渉であったために売り手には厳しい水準で決着済
- 2027年契約分は、原燃料やエネルギーコスト等の製造コスト上昇に伴い、価格是正に取り組む



©SEC CARBON, LIMITED

設備投資

- 2025/3期の投資集中局面を除き、設備投資額は漸増傾向で推移
- 上期設備投資は18.9億円、通期計画43.7億円に対する進捗率は43.3%。設備投資の通期計画は変更なし
- 減価償却費は上期9.0億円、通期20.1億円の見通し。一部設備の稼働ずれにより、当初計画21.5億円から減少
  前期比では減少する計画だが、減価償却費は、設備投資額の漸増に伴い今後増加見込み



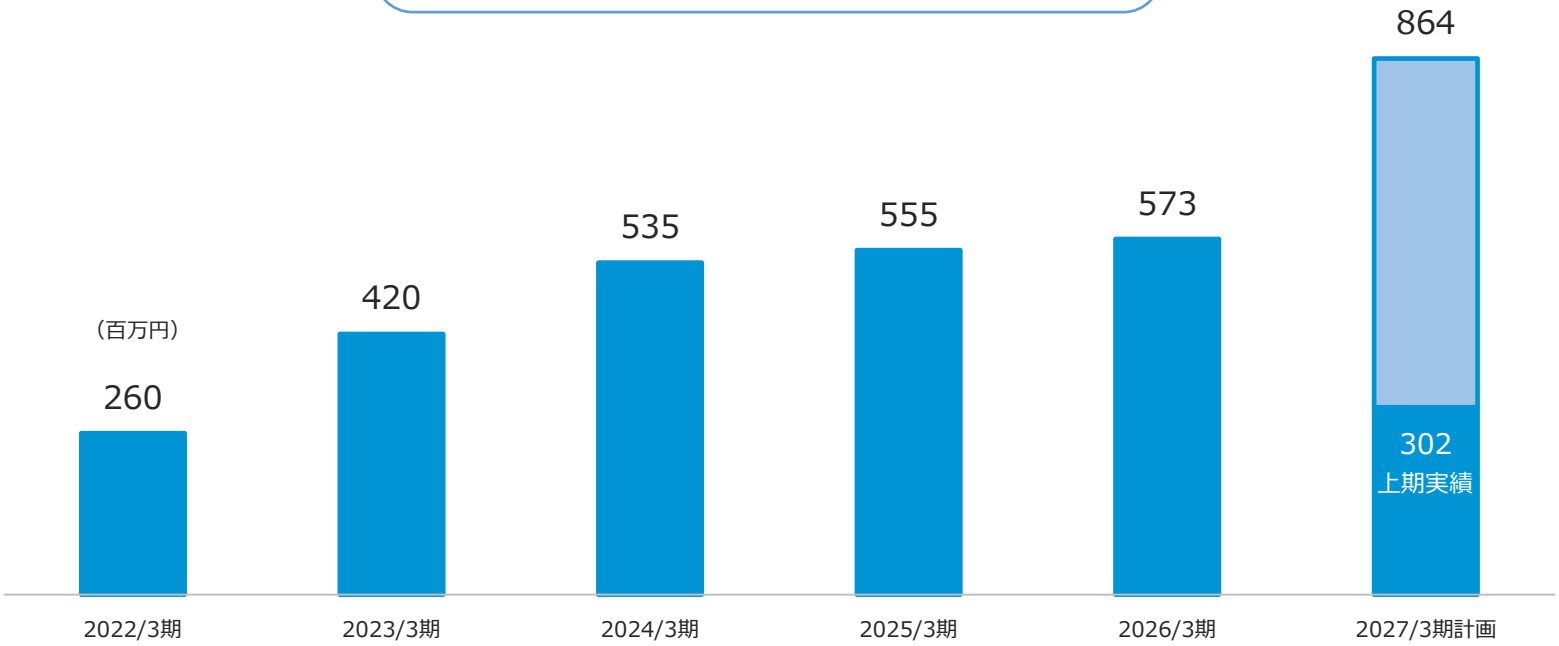
©SEC CARBON, LIMITED

研究開発費

- 2027/3期は、前期からの持ち越し分も含め、半導体関連部材開発、CO_2資源化技術等のテーマを中心に大幅増加計画
- 2026年5月より、溶融塩電解技術を用いたCO_2由来固体炭素製造のベンチスケール検証を開始（産学5者※体制）

※5者は、コスモエネルギーホールディングス株式会社（コスモ石油株式会社）、国立大学法人京都大学、アイ'エムセップ株式会社、住友重機械工業株式会社及び当社

カーボンニュートラルに貢献する新製品開発を加速



©SEC CARBON, LIMITED

株主還元

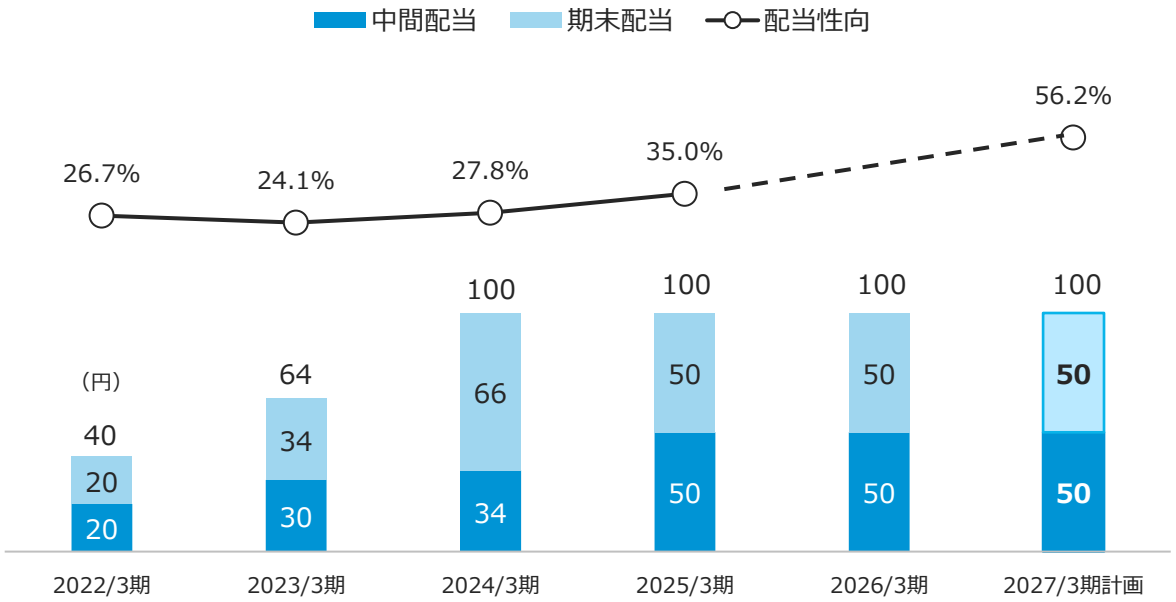
- 中間配当は1株当たり50円、年間100円を予定。配当方針に基づき、当初年間配当予想を維持
- 5月に決議した自己株式取得は9月15日に完了。上期は自己株式取得10億円と配当支払10億円を実施

配当方針

収益性の向上と財務の健全性を図りつつ、
<u>通期100円配当、または連結配当性向30%のいずれか高い方</u>を目安に安定的に実施

自己株式取得方針

業績の動向、資本の状況、市場環境等を考慮の上、機動的に実施



（注）1株当たり配当金：2024年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。
比較のために、2022/3期期首に株式分割を行ったと仮定して記載

APPENDIX

03.

©SEC CARBON, LIMITED

参考指標（連結）

項目	単位	2022/3期	2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期
設備投資	百万円	502	2,444	3,229	6,528	**3,654**
減価償却費	百万円	1,201	1,117	1,377	1,304	**2,048**
研究開発費	百万円	260	420	535	555	**573**
金融収支	百万円	262	526	725	960	**977**
売上高	百万円	22,919	30,401	37,307	31,179	**25,101**
海外売上比率	%	65.2	72.8	80.5	76.6	**73.1**
期中為替レート	円/USD	112.89	134.84	145.34	152.76	**151.64**
営業利益	百万円	3,222	6,490	10,217	6,823	**4,008**
EBITDA	百万円	4,423	7,607	11,595	8,127	**6,056**
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	3,039	5,402	7,299	5,750	**▲74**
ROE	%	5.6	9.1	10.8	7.8	**▲0.1**
営業CF	百万円	7,615	2,337	7,794	4,548	**7,766**
実質投資CF	百万円	▲ 944	▲ 4,319	▲ 3,389	▲ 5,974	**▲5,569**
実質FCF	百万円	6,671	▲ 1,981	4,404	▲ 1,426	**2,197**
財務CF	百万円	▲826	▲1,027	▲1,393	▲ 2,989	**▲2,011**
現金及び現金同等物	百万円	22,188	19,087	9,424	5,070	**3,613**
1株当たり年間配当金	円/株	40	64	100	100	**100**
配当性向	%	26.7	24.1	27.8	35.0	**-**

（注）1株当たり配当金：2024年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施。比較のために、2022/3期期首に株式分割を行ったと仮定して記載

©SEC CARBON, LIMITED

ご留意点

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ先
SECカーボン株式会社 総務広報部
06-6491-8600（代表）
https://sec-carbon.com/contact/

©SEC CARBON, LIMITED